

育休取得率が近年急上昇していく。その数は6割に迫るほど。全国平均は12・65%（厚生労働省発表、2020年度）なので、取得率の高さが伺えます。

「ガイドブックの発行に先立つて開催したセミナーでは、職員による育休体験談も好評でした。取得することよりも育休をどう活用するかという中身が大切ですし、育休をとらなくとも家事や育児をシェアすることはできますが、まずは『育休制度を利用したい人が気兼ねなく利用できる』社会づくりを目指しています」

子育てと一緒に楽しむ きつかけづくりのために

令和2年に開催された『イクメンパパのスキルアップセミナー』は、育休体験談のほか、パパ同士の交流を深めるグループトークもあり、このときに出た「あるあ

「それ話」はガイドブックでも紹介されています。むろに、ママを癒す技術を磨くためのワークショップも開かれ、やはり現役パパであるCafé FUJINUMA代表の藤沼英介さんがおいしいカフェオレの淹れ方をレクチャーしてくれました。

「子育てはパパとママが協力し合っておこなうもの。男女共同参画の趣旨からも、ママをいたわる気持ちを大切にしようと呼びかけつつ、堅苦しくならないようなどべを工夫しました」

男性が子育てや家事へ参加することは、人によってはなかなかハードルが高いものです。だからこそセミナーは気軽に参加しやすい内容にし、ガイドブックも可愛らしいイラストをふんだんにつかつて親しみやすい雰囲気に仕上げられています。ちなみにこのイラストを描いたのは、石坂さんの妻である。anさん。「パパがしてくれてうれしかったこと」など、ママの本音が紹

おおいたいがされているそうです。
介されたページにもoamさんの意見が
みんなが暮らしやすい
社会の実現を目指して



パパの育児と家事を応援！子育てパパのためのガイド本